

## 》》 報告

### 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」・ 研究拠点形成支援プログラム研究プロジェクト 2019年度成果発表会

2020年2月22日 発表者:武藤祥子

立命館大学アート・リサーチセンター(以下ARC)は、2014年より文部科学省共同利用・共同研究拠点に認定されたことを受けて、日本文化の有形・無形文化財のデジタル・アーカイブを研究テーマとする共同研究を推進している。当館はこのうち個別テーマ設定型の共同研究プロジェクトに2014年度より採択され、今年度も「**演劇上演記録データベースを活用した、演劇資料画像検索閲覧システムの構築に関する研究**」という研究課題で、引き続き活動を行っている。さらに今年度は昨年10月、ARCが文部科学省の国際共同利用・共同研究拠点の認定を受け、日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点として活動を開始し、これまでの共同利用・共同研究拠点も国際共同利用・共同研究拠点に移行した。この国際共同研究拠点の2019年度成果発表会が、2020年2月21日(金)から22日(土)にかけ、京都の立命館大学衣笠キャンパス内にあるARCで、各プロジェクトの研究代表者により行われ、当館は2日目の2月24日に、成果報告を行ってきた。

当館が行っている研究は、当館が管理している演劇上演記録のデータのうち、過去の記録のデータをより精緻な内容にすると共に、資料アーカイブのメタデータとして活用していく活動のことである。当館では昭和33年の開館以来、演劇資料の整理の基礎となる「上演情報」つまり「何の演目が、何年何月どこの劇場で上演されたか」という情報を管理するため、主に明治初年から戦前までの東京の記録と、戦後の各地の大劇場、そして東京の小劇場の公演の記録を「演劇上演記録」として蓄積してきた。本研究では、この基本データの不完全な情報について、劇場プログラムなどの資料を典拠に、考証を進めて追加していくことでデータの精度を上げ、演劇に関する研究や資料整理の基礎となる上演記録データベースを構築し、さらにそのデータを他のデータベースの構築に活用することを目的としている。今期はジャンル別の考証作業として、2015年度から継続して進めている各劇場で催された舞踊会のプログラムを網羅的に入力する作業を行い、今期は、平成11年までの入力を完了する事ができた。

また、今期は上演記録データの応用篇として劇場名データベースの考証作業に着手した。劇場名データベースは、元々は上演記録データベースで劇場名を統一するための入力支援表として開発したものである。劇場は、時代に伴い名称を変えたり、移転したり、経営者が変わるなど変遷を繰り返すので、その変遷を記録・管理するためのデータベースがあれば非常に便利であるが、名称や場所が同一でも、経営者が全く変わっているなど、同一の劇場として扱えないケースも多く、劇場を特定すること自体が研究領域である。いずれはいつどこに何の劇場があったかを、地図上で辿れるようなアーカイブに成長させたいが、ひとまず劇場名での検索が出来る基本的なデータベースの公開を目指したいと考えている。

続いて、画像検索閲覧システムの構築についての成果であるが、現在公開に向け2つのデジタル・アーカイブを準備中である事をご報告した。1つめは**竹本床本検索閲覧システム**である。竹本床本とは、竹本の太夫が舞台上で使用する台本で、使用する太夫自身が筆写で作る唯一無二のものである。当館が所蔵する竹本床本のうち、これまでに竹本鏡太夫及び豊竹寿太夫旧蔵本計589冊について、伝統歌舞伎保存会の技術研究事業によりデジタル画像の撮影と目録化が完了している。床本に使用した興行の上演年月などが記載されている場合には、演劇上演記録データベースを活用し、興行を特定、書誌データへと入力した。現在、この書誌データを基に検索閲覧システムを構築し、非公開試運転中である。

2つ目は**川上音二郎貞奴訪欧公演アルバム閲覧システム**である。川上音二郎貞奴訪欧公演アルバムは、2018年のクラウドファンディングで得た支援金で修復及びデジタル化を行い、簡単な目録データの入力が終了している。現在、実際にアルバムを閲覧するようなイメージでの閲覧が可能なデジタル展示に発展させたいと作業中である。

そして、現在申請中の来期事業についてもご報告した。2020年度の共同研究では、2019年のクラウドファンディングで得た支援金で、当館所蔵の歌舞伎プロマイド約1万枚をARCにデジタル撮影を依頼し、この画像データを基に写真の考証を行いアーカイブの書誌入力を進める予定である。ARCの日本芸能・演劇総合上演年表DBなども活用し書誌入力を進め、最終的には、公開可能な写真については Web 上で閲覧が出来るようにする事で、歌舞伎の製作や宣伝の現場、研究や教育など多方面での研究において参考にして頂けるようなアーカイブにしていきたいと考えている。

今回の成果発表会では、1日目の夕方予定されていた意見交流会が、コロナウィルス感染拡大の影響で、残念ながら中止となってしまったが、参加した両日とも別のプロジェクトの先生方にお声掛け頂き、充実した意見交換をする事が出来た。

日本舞台芸術の研究と普及を国内外に支援する研究者のコンソーシアムである JPARC (Japanese Performing Arts Research Consortium)を推進されている Monica BETHE 先生は、能楽等と比較して、研究・教育に活用出来る歌舞伎の素材が少ない事に触れていらしたが、当館の歌舞伎プロマイドのアーカイブ公開が、この分野に大きく貢献するであろうと期待の言葉を掛けて下さった。また、尾上松之助遺品保存会代表の松野吉孝氏は、昼食時間を利用して、公開中の尾上松之助遺品保存会 資料アーカイブズにおいて、それぞれのアーカイブの見せ方の違いについて解説して下さい。多種多様な資料をデジタル化し、資料によって、アーカイブの公開の仕方を工夫し、活用しやすくしている点が大変勉強になった。なお、松野氏は、現在も尾上松之助に関わる資料を積極的に収集しているとの事で、お心当たりのある方は松野氏までご連絡頂きたい。(松野氏携帯:090-5326-3123)

3月18日より始まります！

## 第81回所蔵資料展示 「東劇90周年」展

展示期間:2020年3/18~4/28/於 閲覧室

松竹大谷図書館から晴海通りをはさんだ向かいにある、白と赤の配色のビルの名前をご存じですか？「東劇」と呼ばれるこのビルは、地上20階建てで、映画館、オフィスや飲食店、書店などが入っており、松竹本社の所在地でもあります。

東劇は「東京劇場」の略称で、昭和5[1930]年4月に、松竹直営の演劇の劇場として、歌舞伎の名優、6代目尾上梅幸、15代目市村羽左衛門、6代目尾上菊五郎によるご祝儀舞踊『寿式三番叟』で華々しく開場しました。明治28[1895]年の京都での創業以来、松竹は関西各地、そして明治43[1910]年には東京に進出し、数々の劇場を直営としてきましたが、大阪の道頓堀松竹座をのぞいてはすべて既存の劇場で、東京劇場は、松竹が東京で初めて自らの資本のみで建築した劇場でした。東京劇場の開場により、松竹は東京の六大劇場（歌舞伎座、明治座、新歌舞伎座、市村座、帝劇、東京劇場）を手中におさめ、東京の演劇界でその勢力を増していくこととなります。席数1,898席、スパニッシュ式といわれた純洋風の近代的大劇場で、歌舞伎や新派、新国劇など演劇の上演だけでなく、松竹少女歌劇やオーケストラ、映画の興行も行われました。

戦火を免れた東京劇場は、戦後、焼失した歌舞伎座にかわり歌舞伎の興行を行いました。戦後GHQによって上演禁止となった『仮名手本忠臣蔵』が、上演許可がおりた後に初めて上演されたのは東京劇場でした。他に新派、文楽、歌劇、新劇など様々な演劇が上演されており、戦後の演劇界において重要な役割を果たしました。

昭和26[1951]年1月、第四期歌舞伎座が開場となりますが、その前年12月31日、東京劇場は洋画系の映画館となります。第1回目の上映はアメリカ映画の『摩天楼』で、以来、『シェーン』(昭和28[1953]年)など多くの洋画が上映されました。昭和50[1975]年には「東劇ビル」として、現在の高層ビルに改築され、映画館は3階に新装開場し、7月5日より新築オープン・ロードショーとしてアメリカ映画の『サンシャイン』が上映されました。昭和、平成を通して多くの映画が上映された東劇ですが、近年はシネマ歌舞伎やMETライブビューイング、ゲキ×シネなど舞台を映像化した映画を数多く上映し、文化の発信地となっています。

本年はこの東劇が、90周年という節目を迎える年となります。今回の展示では、戦前から戦後にかけての東京劇場に関する資料を演劇・映画両分野から選び、展示します。



左:書籍『東京劇場新築落成御披露』  
右:プログラム「新築落成披露第一回興行」

**【展示資料一覧】**書籍『東京劇場新築落成御披露』/「新築落成記念 築地 東京劇場」挨拶状、挨拶状台紙 昭和5[1930]年3月29日/スチール写真「東京劇場」萬年橋側から見た劇場正面外観/劇場内部/大広間回廊 昭和5[1930]年3月29日新築落成/スチール写真『寿式三番叟』東京劇場開場の際に上演/プログラム「新築落成披露第一回興行」昭和5[1930]年4月/スチール写真 昭和5[1930]年4月『色彩問対豆』『京鹿子娘道成寺』『江戸育御祭佐七』/プログラム「若さと熟の松竹少女歌劇」昭和7[1932]年10月/プログラム「新国劇及新人聯盟」昭和8[1933]年2月/「東京中央劇場」No.1 東京中央劇場は昭和16[1941]年5月12日に東京劇場5階に開館した映画館/プログラム 俳優座公演『検察官』昭和21[1946]年3月19-24日、文学座公演『河』3月26-31日/『東劇』特輯号「尾上菊五郎・澤村宗十郎・中村吉右衛門・松本幸四郎合同歌舞伎」昭和21[1946]年5月/『東劇』「新生新派 水谷八重子合同公演」昭和23[1948]年8月/『東劇グラフ』16号「大阪文楽座引越興行」昭和23[1948]年9月/映画プログラム『シェーン』『東劇』73 昭和28[1953]年10月公開/映画プログラム『サンシャイン』昭和50[1975]年7月公開 新装なった東劇で初めて上映された映画/東京劇場スチール写真「東京劇場外観」昭和23[1948]年11月、「東京劇場空撮」昭和31[1956]年、「東京劇場外観」昭和38[1963]年7月か/[複製展示]『東劇ビル』昭和50[1975]年7月竣工 表紙複製

### »»資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2019年12月-2020年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、劇団民藝、日本映画テレビプロデューサー協会、文学座、日本劇作家協会、邦楽の友社、株式会社日本舞踊社、協同組合 日本映画撮影監督協会、愛知芸術文化センター、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、一般社団法人日本演出者協会、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、シナリオ・センター、演劇出版社、公益社団法人日本劇団協議会、国立劇場、キネマ旬報社、銀座 博品館劇場、シアタークリエ、下野公久、一般社団法人日本民間放送連盟、山口博哉、日本劇場技術者連盟、国立映画アーカイブ、梅村三郎、若林さだ吉、都市出版株式会社、御園座演劇図書館、デアゴスティーニ・ジャパン、おとなのデジタルTVナビ編集部、樽松大剛、公益社団法人日本照明家協会、岩波ホール、博多座、有限会社合同通信社、丸善出版株式会社、東宝株式会社映像事業部、劇団銅鑼、伝統文化新聞、神奈川県演劇連盟、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、おもだか会、株式会社オフィスタカヤ、新国立劇場情報センター、公益財団法人阪急文化財団、(株)近代映画社、名古屋芸能文化会、銀座百店会、博物館明治村、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、神戸女子大学古典芸能研究センター、世田谷文学館、公益財団法人日本近代文学館、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、劇団青年座、無声映画鑑賞会、人形劇団ブーク、一般社団法人関西常磐津協会、鎌倉市川喜多映画記念館、帝国劇場、新歌舞伎座、株式会社花組芝居、中村京蔵、東京都江戸東京博物館、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、株式会社カモミール社テアトロ編集部、大佛次郎記念館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)、日本大学芸術学部演劇学科、朝日新聞出版、雨宮(久安)雅子、株式会社ホリプロ、有限会社ダンスウエスト、水戸芸術館ACM劇場、若柳流五世宗家・家元若柳吉蔵、紀伊國屋ホール、公益社団法人日本演劇協会、こまつ座、株式会社国書刊行会、一般社団法人義太夫協会、公益財団法人大倉精神文化研究所

どうもありがとうございました



▶ **新着資料案内** 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ **松竹系 2月 演劇公演資料** ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『菅原伝授手習鑑 加茂堤・筆法伝授・道明寺』	○	○	○	○
	『八陣守護城』	○	○		
	『羽衣』	○	○		
	『人情噺文七元結』	○	○		
	『道行故郷の初雪』	○	○		
新橋演舞場	松竹新喜劇『駕籠や捕物帳』	○	○	○	○
	松竹新喜劇『大阪の 家族はつらいよ』	○	○		
	『八つ墓村』	○			
松竹座	『喜劇なにわ夫婦八景 米朝・絹子とおもろい弟子たち』	○		○	
	『笑福亭銀瓶 噺の会 大阪松竹座でぎんぎん!』				
南座	『舟木一夫シアターコンサート 2020 in 南座』				○
博多座	『新版オグリ』				○
大塚国際美術館	『NOBUNAGA』	○		○	
地方巡業(市川海老蔵特別公演)	『羽衣』			○	
	『ご挨拶』				
	『勸進帳』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ **他社演劇公演資料(12-2月)** ■ (順不同)

KAKUTA presents Monkey Biz『往転』本多劇場プログラム/新国立劇場演劇研修所『社会の柱』新国立劇場小劇場プログラム/可児市文化創造センター+リーズ・プレイハウス『野兎たち』新国立劇場小劇場プログラム/日本の演劇人を育てるプロジェクト『酔鯨云々』中野ザ・ポケットプログラム、台本/流山児★事務所『コタン虐殺』ザ・スズナリプログラム/ONEOR8『誕生の日』d-倉庫プログラム/日本舞踊協会『第63回日本舞踊協会公演』国立劇場大劇場プログラム/名取事務所『帽子と予言者/鳥が鳴き止む時 占領下のラマッラー』下北沢「劇」小劇場プログラム、台本/MASHIKAKU『リンドバーグ』博品館劇場プログラム/OSK 日本歌劇団『天使の歌が聞こえる』博品館劇場プログラム/Dramatic Super Dance Theater『MOZART オレは誰だ!!』博品館劇場プログラム/Avenue X theater『パレンティン・ブルー』博品館劇場プログラム/劇団民藝『白い花』紀伊國屋サザンシアタープログラム、台本/二兎社『私たちは何も知らない』東京芸術劇場シアターウエストプログラム/Musical『シャボン玉とんだ宇宙までとんだ』シアタークリエプログラム

■ **映画資料** ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『F u k u s h i m a 5 0 』	○	○			○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ **映画プログラム** ■ (順不同)

『グッドバイ 嘘からはじまる人生喜劇』『ふたりのJ・T・リロイ ベストセラー作家の裏の裏』『作家、本当のJ.T.リロイ』『Red』『黒い司法 0%からの奇跡』『スケアリーストーリーズ 怖い本』『サヨナラまでの30分』『レ・ミゼラブル』『キャッツ』『架空OL日記』『テリー・ギリアムのドン・キホーテ』『パッドボーイズ フォー・ライフ』『ナイブズ・アウト 名探偵と刃の館の秘密』『1917 命をかけた伝令』『MAN WITH A MISSION THE MOVIE TRACE the HISTORY』『ヲタクに恋は難しい』『ハスラズ』『スマホを落とすだけなのに 囚われの殺人鬼』『スキヤンダル』『チャリーズ・エンジェル』『仮面病棟』

■ **演劇雑誌** ■

『AAC』Vol. 103/『Confetti かわら本』2020年2月号,3月号/『JATET』No. 86/『act guide [アクトガイド]』2020 Season 5/『omoshii PRESS オモシイ・プレス』Vol. 5,6/『あぜくら』2020年2月号/『ほうおう』2020年4月号/『やそしま』13号/『テアトロ』2020年3月号/『ラ・アルプ』2020年3月号/『演劇界』2020年4月号/『歌舞伎 研究と批評』(64) /『華風』2020年3月号/『喝采』2020年5月/『御園座演劇図書館 Newsletter』Vol. 23/『国立演芸場公演ガイド』令和2年3月号/『大向う』令和2年3月号/『日本照明家協会誌』2020年2月号/『日本舞踊』72巻3月号/『悲劇喜劇』2020年3月号/『邦楽の友』令和2年3月号

■ **映画雑誌** ■

『FLIX』2020年4月号/『SCREEN』2020年4月号/『TVガイド』2020年2/7号,2/14号,2/21号,2/28号/『おとなのデジタルTVナビ』2020年4月号/『キネマ旬報』2020年3月上旬号/『ドラマ』2020年3月号/『ピクトアップ』2020年4月号/『映画テレビ技術』2020年3月号/『映画芸術』2020年冬号/『映画撮影』No. 224/『映画時報』2020年2月号/『日経エンタテインメント!』2020年3月号/『文化通信ジャーナル』2020年2月号

## ■世田谷文学館『六世中村歌右衛門展 ようこそ歌舞伎の国へ』、4月5日までです！

コロナウィルス感染拡大の影響で、各地で休館が相次いでおりますが、世田谷文学館の『六世中村歌右衛門展』は開催中です(※3月6日現在)。残り1か月となった企画展、貴重な資料の数々をぜひご覧ください。歌右衛門が愛した桜の季節にお出かけしてみませんか？  
※お出かけの際は事前に開催情報を世田谷文学館までご確認ください。なお、3月15日に予定されていた記念講演会は開催中止となりました。



■開催情報■ 『六世中村歌右衛門展 ようこそ歌舞伎の国へ』  
会場：世田谷文学館 2階展示室 住所：〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 1-10-10 電話：03-5374-9111/会期：2020年1月18日(土) - 4月5日(日) ※展覧会期間中、一部展示替えがございます。/開館時間：10:00 - 18:00 (入館は17:30まで) /休館日：毎週月曜(※ただし月曜が祝日の場合は開館し、翌平日休館) /入館料：有料 URL：<https://www.setabun.or.jp/index.html>

### ■編集後記■

事務所内にお雛様を飾りました！実は「源氏物語」と書かれた札が添えられているお人形ですが、菱餅を前に、ふたり並んで向かい合っている様子がかわいらしいのです。  
さて右記のお知らせの通り、当館はただいま2週間の休館に入っております。利用者の方には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



●春期特別整理休館のお知らせ●  
令和2年3月4日(水)  
3月17日(火)  
3月18日(水)より  
通常開館いたします

## ■公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

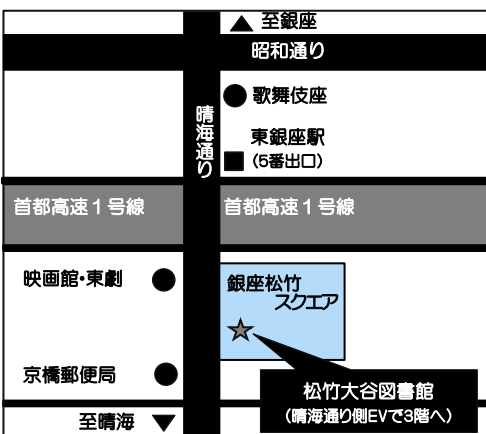
公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。  
何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ●現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載) 2020(令和2)年2月にご支援いただきました法人・団体(50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座  
歌舞伎座サービス株式会社  
歌舞伎座舞台株式会社  
有限会社合同通信社  
松竹株式会社  
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター  
松竹音楽出版株式会社  
松竹芸能株式会社  
株式会社松竹サービスネットワーク  
松竹ブロードキャスティング株式会社  
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



### 編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / TEL 03-5550-1694

公式HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>

#### ●利用案内●

【開館時間】平日午前10時～午後5時 / 【休館日】土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期特別整理期間※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します / 【閲覧】館内閲覧のみ / 【入館料】無料 / 【コピーサービス】A4 1枚 白黒 50円、カラー 150円・B4 1枚 白黒 100円、カラー 300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります

#### ●資料検索●

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

#### ●交通案内●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分  
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

